

インフルエンザ感染拡大防止への緊急対応マニュアル

東 沢 小 学 校

インフルエンザ感染拡大

健康状態の把握 → 8:45まで健康簿完全回収

<各担任・養護教諭（保健主事）>

○欠席者数 ○罹患者数 ○その他の児童の状況

【欠席児童の家庭に確認】

○インフルエンザの型 ○発症月日 ○受診済みかどうか

拡大が心配な期間中、毎日、インフルエンザへの対策会を開く。

<メンバー：校長・教頭・養護教諭（保健主事）・教務>

※教頭が会を進める。

○児童の欠席及び罹患者の状況確認→校医へ報告

○午前授業、学級及び学年閉鎖等の対応措置の確認と決定
(右記を参照)

緊急対応の目安

(1) 午前授業の場合の目安

<給食後、すぐ下校>

①欠席者＝クラスの約20%程度

②罹患出席率＝クラス50%以上

①または②が成立する場合

(2) 学級及び学年閉鎖の場合の目安

①欠席者＝全体の約20～30%程度

②罹患出席率＝全体の約50～70%以上

①または②が成立する場合

「出席停止」について

□医師の診断が出た場合は
「出席停止」

□学年及び学級閉鎖も
「出席停止」

□インフルエンザ様疾患を
含む

※指示があるまで、健康簿は
鉛筆書きで対応する。

学校としての緊急対応

○学校閉鎖 ○学年閉鎖
○学級閉鎖 ○午前授業 等

■換気 ■水分補給・手洗い ■保湿

報 告

○市教委(スポ保)へ <養護教諭より>

○保護者へお便り <教頭・教務>

○緊急連絡メール <教頭・教務>

○子どもクラブ 他外部へ <教頭・教務>

□社会体育団体へ □近隣の学校へ

日常的な指導とその後の対応

感染拡大防止対策と主な児童への指導内容

□ゆっくりと体を休め、十分な休養をとる。

□外出を控える。

□友だちと遊んだり、人混みに行ったりしない。

□規則正しい生活を送り、栄養ある食事と十分な
睡眠時間を確保する。

□テレビやゲームを控え、できるだけ体と脳を休める。

□スポ少本部の決定により、スポ少活動等の制限及
び自粛をする。

保護者への協力依頼内容

□人混みを避ける。

□こまめな水分補給と手洗いの励行を促す。

□睡眠を十分にとり、規則正しい生活を送らせる。

□換気に努め、湿度を十分に保つ。

□マスクを着用させる。

□体調が悪そうときには早めに受診させる。

□登校前の体調を確認する。(検温等)

□体調不良が分かった場合は、すぐに担任へ連絡
する。

□発症後5日が経過して、解熱後2日を経過して
から登校させる。

□無理に登校させない。

緊急対応期間の終了の目安

インフルエンザ罹患による

□ 欠席者 5名以下

□ 罹患率 10%以下

ただし、学校医の指導を受け、終了を
確認する。

インフルエンザ対応の

収束と終焉を確認